

# 「こんにちは松江清心養護学校です」



島根県立松江清心養護学校  
令和7年2月17日 第9号

2025年、早くも1月が終わり、2月も半ばを過ぎようとしています。立春が過ぎましたが、寒波の到来により寒い日が続きました。春の訪れを待ちわびる日々です。

今月号では、パフォーマンス公演と島根大学との交流学習の様子をご紹介します。

## ジロー今村さん パフォーマンス公演

2月17日金曜日、松江市地域おこし協力隊として活動しておられるパフォーマンス“ジロー今村さん”のパフォーマンス公演がありました。日頃から『愛～夢～魂～語るより感じる!』をキャッチフレーズに精力的に活動しておられるジローさん。今回の公演でも、常に児童生徒とかかわりながら、様々なパフォーマンスを披露して下さる姿に、本校の児童生徒と「繋がりたい、かかわりたい。」というジローさんの熱い思いを感じることができました。『語るより感じる!』のジローさんワールドにみんなが引き込まれ、ジローさんから回る皿を次々と受け取り、気が付けば参加した児童生徒のほとんどが皿回しで繋がっていくという感動的な空間が体育館に生まれました。また、ピラミッド状に積んだ椅子の頂上での逆立ちなど、ハラハラドキドキのパフォーマンスもありました。精神を集中させて難しい技にチャレンジするジローさん

の姿を真剣な眼差しで見つめる児童生徒たち…。ジローさんを中心にして、みんなの気持ちは繋がり、一つになっていったように思います。そして、“あきらめない心”や“挑戦する勇氣”も受け取ったのではないのでしょうか。まさに、“愛～夢～魂”に満ちた、心を揺さぶられる貴重な時間でした。「ジローさん、ありがとうございました。」



## 年間を通して取り組んだ島根大学との交流学習

今年度、島根大学と3回の交流を行いました。理解啓発はもちろんですが、子どもたちにとっては、地域の方と楽しくかかわる経験を通して、「人とかかわることって楽しいと感じてほしい♪」「様々な人と自分の気持ちを伝えながらかかわる経験をしてほしい♪」という願いで、年間を通して行ってきた交流です。

今回は、交流する部屋も大学生が借りて、早く行って暖房をつけて温めてくれていました。最初はお互いに少し緊張した様子も見られましたが、徐々に慣れ、同じグループの大学生の言葉かけやかかわりに、発声や表情、身振りで気持ちを伝えたり、ハイタッチをしたりしながら、一緒にポッチャを楽しみました。とても自然な温かい雰囲気の中での交流となりました。大学生の感想を紹介します。



特別支援学校の子どもたちと関わるのは初めてで、とても緊張していたのですが、みんなすごく表情が豊かで、一生懸命伝えようとしてくれたのがとても嬉しく、言葉以外の様々なコミュニケーションのとり方を学ばせていただきました。また、言葉でコミュニケーションがとりにくいことで、困っている時に何をしてあげればよいか考えて行動しなくてはならないことや、日々のコミュニケーションや関係性を構築することの大切さも学びました。純粋に楽しかったです。

今回やっと活動に参加することができ、松江清心養護学校の子どもたちと関わってとても楽しい時間を過ごせました。最初の方は少し緊張が見られた子どもたちが、活動を進めるごとに、にこやかに楽しそうに活動している様子を見て、とても温かい気持ちになりました。次回は他の学生もたくさん誘って活動に参加できたらな、と思います。

皆さんとお会いするまでは、うまくコミュニケーションがとれるかとても不安でした。でも、一人一人に対して、こんな風に接したらいいよとアドバイスをいただいたので、それを意識しながら一緒に楽しむことができました。皆さんがたくさん自分の感情を表現してくれるし、ハイタッチとかもできたので、こんなにコミュニケーションが取れると思っていなくて、本当に嬉しかったです。また色々な遊びを通して仲良くなりたいです。

ホームページでは、学校生活や学習の様子を掲載しています。携帯、スマートフォン等からQRコードを読み込んでいただくと繋がります!



松江清心養護学校のホームページはこちら  
7-10の島根県立松江清心養護学校